

このプリントでは、2021年2月14日に実施した文章読解・作成能力検定の3級の問題を使って、意見文の「事実」の書き方を説明します。検定問題は、協会HPよりダウンロードすることができます。

<https://www.kanken.or.jp/bunshouken/materials/example.html>

ステップ1 事実を思い出しながら、5W1H+結果メモを作ろう

意見文を書いているんだけど、「事実」が2行くらいで終わっちゃう。どうしたらもっと書けるようになるのかなあ。



5W1H（いつ、どこで、だれが、なにを、なぜ、どのように）と、その結果を意識して「事実」を思い出してみるといいよ。次のテーマで思いつく体験はあるかな？

テーマ 友人が失敗したとき、アドバイスをする方がよいか、しない方がよいか

友人にアドバイスしたことはないけど、されたことはあるわ。



その出来事で5W1Hメモを作ってみよう。5W1Hに加えて、「アドバイスされた結果」も考えてみて。

5W1H+結果メモ

いつ	去年
どこで	学校
だれが	友人が私に
なにを	アドバイス
なぜ	私のテストの結果がよくなかったから
どのように	???
どうなった	友人とあまり話さなくなった

「どのように」に何を書けばいいのか、わからなかったよ。



無理に全部書かなくてもいいんだよ。次は、このメモを使って文章を書こう。



やってみる！



ステップ2 5W1H+結果メモをもとに、事実の段落を書こう



ワーク1 上の5W1H+結果メモをもとに、文章を書いてみよう。

幼稚園のときに、隣にアメリカ人の一家が引っ越してきた。その家には私と同じ年の子供がいた。最初はほとんど言葉が通じなかったが、遊んでいるうちに、簡単な英単語は自然に覚えてしまい、相手の言っていることがなんとなく分かるようになっていった。そのおかげで、今でも英語はわたしの得意科目だ。それなのに、去年、学校のテストの結果はひどいものだった。落ち込んでいると友人がアドバイスの言葉をかけてきた。友人とは話さなくなった。

書けた！



わあ、具体的にたくさん書けたね。でも惜しいなあ。



え、どこが？



下線を引いた部分は、英語が得意になったいきさつをくわしく書けているね。でも、今回のテーマで大事なのは、「どんな失敗」をして「どんなアドバイス」をされて、「なぜ話さなくなったのか」という部分なんだ。意見につながるよう意識して書き直してみて。

下線部を消して、くわしく書きなおしてみよう。



去年、学校の英語のテストで、解答欄を途中からひとつずつらして解答してしまった。そのせいで、結果はひどいものだった。なぜこんな失敗をしたのかと、ものすごく落ち込んでしまった。そんなとき、当時仲の良かった友人が「今度からは、一問ずつ確認しながら気をつけて解答したほうがいいよ」と言ってきた。落ち込んでいるときに傷口に塩をぬるようなことを言われたと感じた。それで、つかっとなつて「そんなことくらい私だって分かっている。余計なお世話よ。」と言ってしまった。友人は怒りを顔に浮かべて、無言で立ち去った。それ以来、その友人とはあまり話さなくなってしまった。

どんな失敗をしたのか

どんなアドバイスをされたのか

アドバイスされたあと、どんなことが起こったのか



うん、「友人が失敗したときにアドバイスをしない方がよい」という意見につながるってよく分かるようになったね。最後に、さっきと同じテーマで、自分の体験をもとにして「事実」を書く練習をしよう。

ステップ3 自分の体験をもとにして、「事実」を書いてみよう



ワーク2 5W1H+結果メモを作ろう

いつ
どこで
だれが
なにを
なぜ
どのように
どうなった



ワーク3 メモをもとに事実を書こう

うまく書けたかな？ これでこのプリントはおしまいだよ。おつかれさまでした。

